

上部消化管造影検査（バリウム検査） 説明・同意書

【検査の目的】

上部消化管造影検査は、硫酸バリウム（造影剤）や胃を膨らませるための発泡剤を飲んだ後、検査台で体を上下左右に動かすことで、複数の方向から食道・胃・十二指腸の異常の有無を観察するものです。

この検査は、上部消化管の形や病変を観察することができ、特に健診には有用とされることから厚生労働省も推奨しています。また、この検査で浴びる X 線の量（被爆）は約 0.6mSv 程度です。この数値は人が通常生活において年間に被爆する自然放射線量（2.4mSv）の 1/4 程度であり、身体に対する影響はないといわれています。

【当院の上部消化管造影検査について】

当院では検査上、受診者様の安全性を考慮し、診療放射線技師が検査室内で操作を行っております。その際、落下防止や造影剤を体内に行き渡らせるために、受診者様の身体に触れる場合がございます。身体に触れられることを望まない方は事前に診療放射線技師にお申し出ください。

【検査に伴う偶発症】

この検査の偶発症は、誤嚥の報告が最も多く、特に高齢（65 歳以上）では注意が必要です。また、極めて少数ですが硫酸バリウム（造影剤）の使用により、アレルギー反応によるショック、消化管穿孔、腸閉塞、腹膜炎を起こすことがあります。

このような場合には最善の対処を行います。入院・緊急手術などが必要になる場合もございますのでご了承ください。検査後に体調に異変を感じる事があれば、速やかにお申し出ください。

【注意点】

偶発症を予防するため、下記項目に該当する方は事前にお申し出ください。

- ① これまでに上部消化管造影検査（バリウム検査）を行い、アレルギー反応や気分が悪くなったことがある方
- ② 薬や食べ物でアレルギーのある方
- ③ 現在治療中の病気がある方、あるいは過去に入院・手術をしたことがある方

③に該当する方で、内服治療を行っている方は、検査前に薬を処方されている医師に服用方法について説明を受け、必ず服用方法をお守りのうえご来院ください。

以上、ご了承いただけた方は下記にご署名のうえ、受付スタッフにお渡しください。

何かご不明な点がございましたら、お気軽に医師、医療スタッフまでご質問下さい。

医療法人社団渡航者健診クリニック/日比谷クリニック 院長殿

私は、上部消化管造影検査を受けるにあたり、上記説明文の検査の目的や方法、偶発症について了承いたしましたので、検査の実施に同意いたします。

署名年月日： 年 月 日

本人署名 _____